

2021年2月3日ドイツ・ミュンヘン

# 2021 年度 第 1 四半期決算

期間：2020 年 10 月 1 日～12 月 31 日

## 2021年度通期に向けて見事な滑り出し-見通しを上方修正

「当社チームは、複雑な環境下で優れた業績を上げました。このような強力な企業を次世代の経営陣に引き継げることに感謝しています。」—シーメンスAG社長兼CEO ジョー・ケーザー。

- 為替変動とポートフォリオの影響を除くと、受注は比較可能ベースで15%増、売上は7%増、すべてのインダストリービジネスが成長に寄与
- 名目ベースでは、モビリティの大口受注の増加に牽引され、受注は11%増の159億ユーロ、売上は3%増の141億ユーロ、出荷受注比率は1.13
- 堅調な業績と退職金の大幅な減少を含め、インダストリービジネスの利益(Adjusted EBITA)は39%増の21億ユーロ、インダストリービジネスの利益(Adjusted EBITA)率は16.0%
- 純利益は大幅に増加して15億ユーロ、それに対応して基本1株当たり利益(EPS)は1.72ユーロに増加
- 継続事業および非継続事業からのフリーキャッシュフローは10億ユーロ(2020年度第1四半期:4,400万ユーロ)と好調

当四半期中、フレンダー(以前は「ポートフォリオカンパニー」で報告)の事業は処分のために保有している非継続事業に分類。前期の金額は比較可能ベースで表示

## Siemens

(単位：100万ユーロ)	第1四半期		増減	
	2021年度	2020年度	実績	比較
受注	15,940	14,361	11%	15%
売上	14,071	13,675	3%	7%
利益 (Adjusted EBITA)	2,128	1,533	39%	
内：	(37)	(169)		
利益率 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	16.0%	11.7%		
退職手当を除く	16.3%	13.0%		
継続事業からの利益	1,475	1,188	24%	
内：退職手当	(52)	(189)		
非継続事業からの利益 (損失)、(税控除後)	23	(99)	n/a	
純利益	1,498	1,089	38%	
基本1株あたり利益 (単位ユーロ)	1.72	1.33	29%	
フリーキャッシュフロー (継続事業)	906	(2)	n/a	
フリーキャッシュフロー (非継続事業)	66	46	42%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	972	44	>200%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	13.2%	7.9%		

- 新型コロナウイルスのパンデミックによる影響を受けた複雑なマクロ経済環境が継続。中国での力強い成長など、事業や地域によって四半期中の繰延需要と成長機会は多様。
- 前年同期比で、大幅な為替変動の影響が受注と売上にそれぞれ5ポイント減算、ポートフォリオの影響が受注と売上にそれぞれ1ポイント加算。
- 受注は、大量注文による大幅な増加を記録したモビリティに牽引されて、前年同期比で4つのインダストリービジネスすべてで増加。
- 売上も比較可能ベースで4つのインダストリービジネスすべてで増加し、地域別では、中国とドイツの成長が最も顕著。
- インダストリービジネスの利益 (Adjusted EBITA) は、利益率が高くサイクルの短い事業の回復や退職金の大幅な減少など、デジタルインダストリーズで大幅に増加。スマートインフラストラクチャーおよびSiemens Healthineersも大幅に増加。モビリティは引き続き好調でAdjusted EBITAと収益性は前年のCOVID-19以前の水準を維持。全体として、為替によるマイナスの影響はSiemens Healthineersが最大。
- インダストリービジネス以外では、主に、総額1億3,800万ユーロになるドイツのシーメンスペンシオントラストe.V.への資産譲渡により全社費用がプラス変動。2020年度第1四半期には、Siemens Real EstateおよびSiemens Financial Servicesへの投資に関連したさらに高額の利益が含まれた。
- 純利益は、インダストリービジネスの利益 (Adjusted EBITA) の大幅な増加により増加したが、法人税率の上昇により一部相殺され、主にフレンドーに関連する非継続事業がプラスに寄与。2020年度第1四半期には、主に旧エネルギー事業に関連する非継続事業からの損失が含まれた。
- インダストリービジネスは、2020年度第1四半期の7億8,900万ユーロに対し、14億6,800万ユーロの強力なフリーキャッシュフローを計上。主にSiemens Healthineersが牽引し、キャッシュコンバージョンレートは高く、1.19。
- 2020年12月31日現在の年金引当金および類似債務は50億ユーロ (2020年9月30日時点では64億ユーロ)。計画資産のプラスのリターンおよび従業員の退職後給付金用にシーメンスの年金資産を強化するためにシーメンスのBentley Systems, Inc.の株式をシーメンスペンシオントラストe.V.に拠出したことにより、大幅に減少。割引率の大幅な低下が影響を一部相殺した。
- ROCEは、純利益の大幅な増加と平均投下資本の大幅な減少が相まって増加。